

文部科学大臣 萩生田光一 様
文化庁長官 宮田亮平 様

今回の文化庁補助金不交付につきまして、通常の交付金に対する対応に比べ説明が不十分に感じます。少なくとも、文化庁の今回の対応が検閲ではないと説明する以上、なぜ検閲にならないのかという具体的かつ妥当な根拠を示した説明が必要です。今回のあいちトリエンナーレの騒動事態が電凸や炎上という日本（あるいは世界）の現代社会の本質的な問題そのものであり、触れてはいけない問題だから有耶無耶にするという回避の方法は分断、フィルターバブル化する社会を促進する負の文化に繋がります。もちろん、表現の自由だけでは、今回や過去のアンデパンダンのようにかえって心を貧しくすることになるので、両者（作家と展示に反対する人）の対話と理解につながるよう議論を推し進めることで、この問題に真摯に取り組むことが文化を守る・育むことに非常に重要に思います。

（安藤英由樹）
（2019 年 10 月 06 日）